

第56回 中小企業景況調査 (平成 30 年 1 月 - 3 月)

《調査結果の要約》

需要が停滞し、全業種の業況は横ばい

「設備投資への意欲が弱まっている」

業種別にみると、以下のとおりです。

3 ヶ月前と比べ好転 ↑ : 製造業、小売業（最寄品）、小売業（買回品）、サービス業

3 ヶ月前と比べ悪化 ↓ : 建設業、飲食業

1. 全業種の業況判断 DI は▲10.8（前期比+0.9 ポイント）とマイナス幅がほぼ横ばいで、3 ヶ月先は+11.7 と改善の見通しです。
2. 設備投資総件数は 16 件（3 ヶ月前と比べて▲9 件）となりました。その上位内訳は O A 機器 6 件、機械設備 5 件、建物 3 件です。
3. 経営上の問題点（回答社数に対する比率）は、①需要の停滞：35%（39 社）が最も多く、②人件費の増加：29%（32 社）、③単価の低下・上昇難：29%（32 社）、④利用者ニーズの変化：28%（31 社）、⑤人件費以外の費用の増加 27%（30 社）が続いています。

〈国内および神奈川県の中小企業の景況トピックス〉

- ・全国の中小企業の業況は、一部の業種に一服感が見られるものの、基調としては、緩やかに改善している。

(1) 2018 年 1-3 月期の全産業の業況判断 DI は、▲13.9（前期差 0.5 ポイント増）となり、2 期連続して上昇した。

(2) 製造業の業況判断 DI は、▲10.1（前期差 2.2 ポイント減）となり、2 期ぶりに低下した。業種別に見ると、窯業・土石製品、食料品、化学、木材・木製品の 4 業種で上昇し、家具・装備品、輸送用機械器具、鉄鋼・非鉄金属、パルプ・紙・紙加工品、機械器具、金属製品、電気・情報通信機械器具・電子部品、印刷、その他の製造業、繊維工業の 10 業種で低下した。

非製造業の業況判断 DI は、▲15.3（前期差 1.3 ポイント増）と 3 期ぶりに上昇した。産業別に見ると、小売業、建設業で上昇し、卸売業で横ばい、サービス業で低下した。

- ・神奈川県中小企業の総合の業況 DI は、前期比 1.7 ポイント低下の▲19.1 となった。経営状況では、売上 DI は前期比 4.2 ポイント低下の▲18.2、また、採算 DI は同 5.1 ポイント低下の▲25.4 となった。

今後の業況 DI を見ると、3 ヶ月後は現在比 1.0 ポイント上昇の▲18.1、半年後は同 1.7 ポイント低下の▲20.8 を見込んでいる。

* 国内は独立行政法人 中小企業基盤整備機構、神奈川県は財団法人 神奈川産業振興センターの調査報告書からの抜粋

《調査要領》

1. 調査時点：平成30年4月現在
2. 調査件数：鎌倉市内の中小企業、特に小規模企業（製造業・建設業・小売業（最寄品）・小売業（買回品）・飲食業・サービス業）の中から163企業を抽出しました。

	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業	合 計
			最寄品	買回品			
調査件数	16	17	26	29	40	35	163
回答数	12	12	20	16	24	27	111
回答率	75.0%	70.6%	76.9%	55.2%	60.0%	77.1%	68.1%

3. 調査方法：郵送によるアンケート方式(一部経営指導員による聞き取り)
4. 調査項目
 - (1). DIの状況について
 - ① 自社の業況 ② 売上額 ③ 資金繰り ④ 採 算 ⑤ 従業員数
 - (2). 設備投資について
 - (3). 経営上の問題点について
5. 調査データについて
 - (1). DI：Diffusion Index(ディフュージョンインデックス・景気動向指数)の略。
各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差引いた数値で、企業の景況感の判断に使用する指数。
 - (2). データは当該期間（四半期ごと）と、その前年同期および向こう3ヵ月の見通しを対比したものです。
 - ・ 四半期； 1年の4分の1、すなわち「3ヵ月間」
 - ・ 前期比； 3ヵ月前との比較
 - ・ 前年同期比；1年前との比較

<DI計算例>

「やや増加」・「やや好転」50% 「変わらず」20% 「やや悪化」・「やや減少」30%
の場合、次のような計算になります。

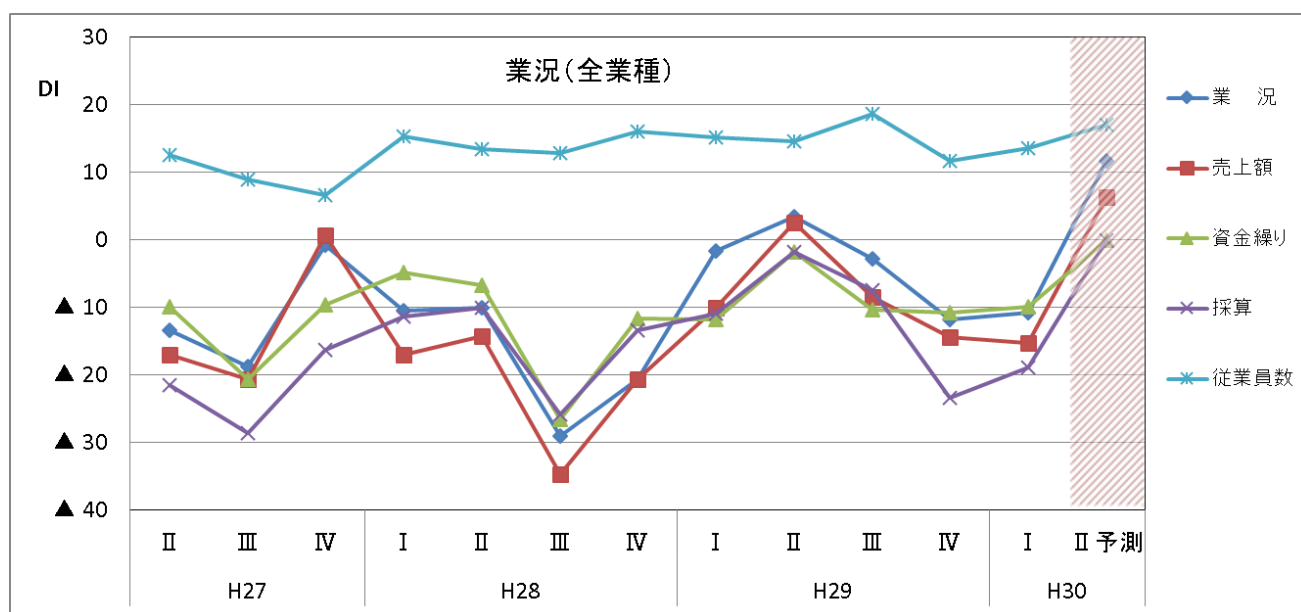
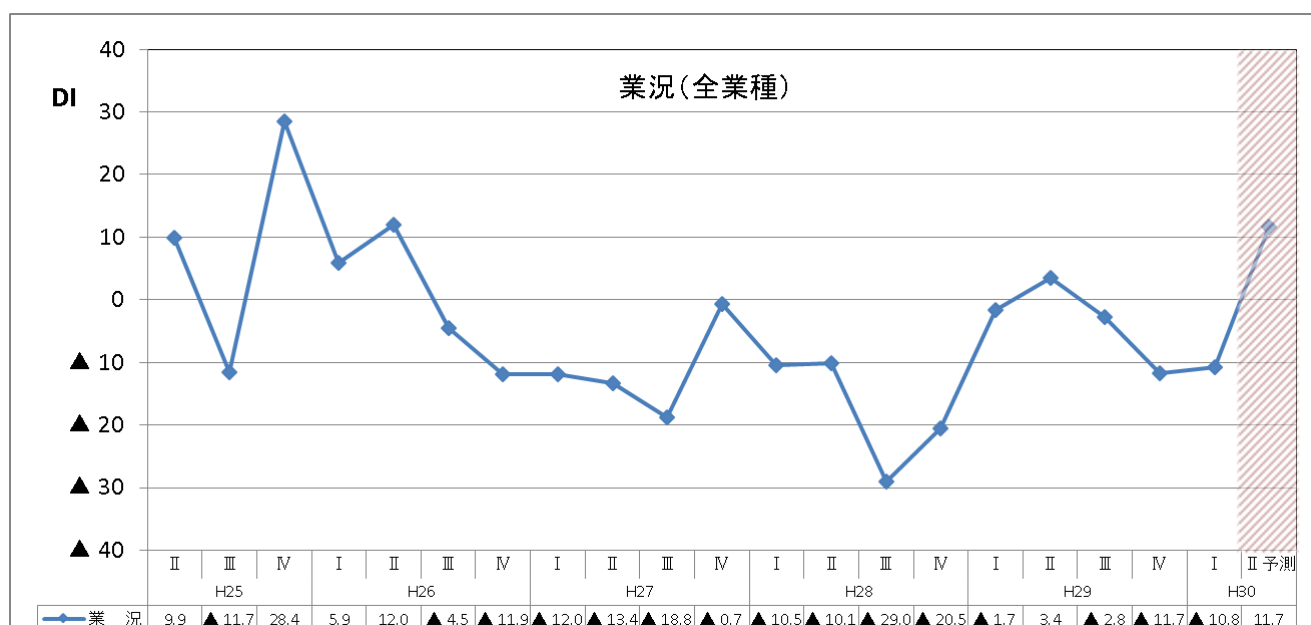
$$\begin{aligned} \text{DI} &= +50 - 30 \\ &= +20 \end{aligned}$$

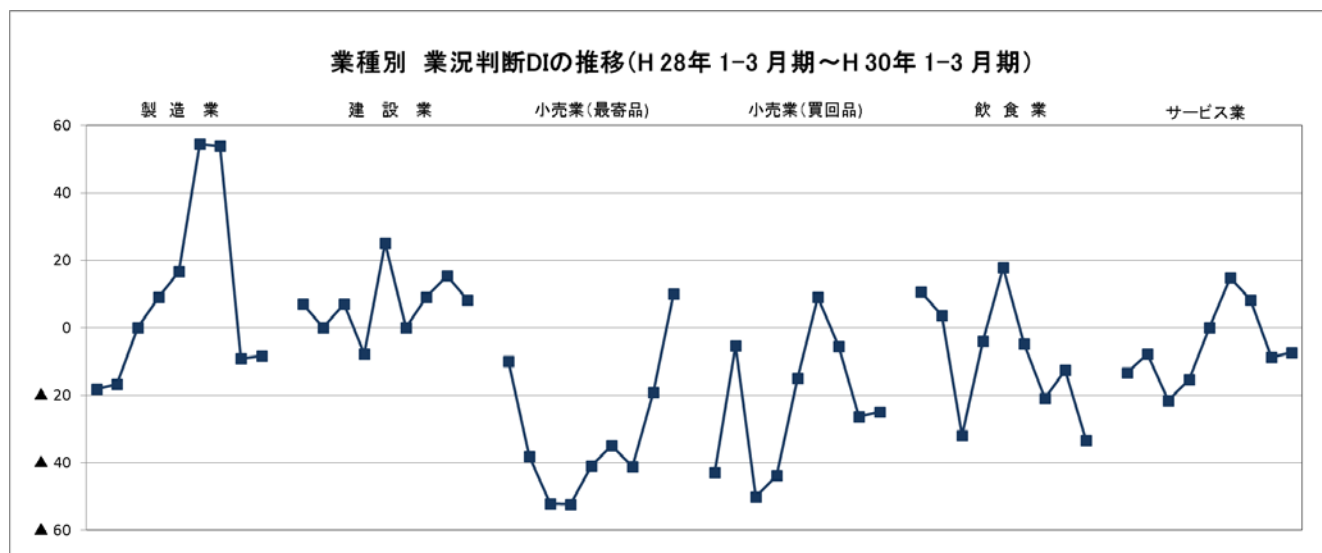
《調査結果》

I. 全業種

□業況 DI

- ・全業種の業況判断 DI は▲10.8（前期比+0.9 ポイント）とマイナス幅がほぼ横ばいで、3 ヶ月先は+11.7 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は▲15.3（前期比▲0.9 ポイント）とマイナス幅がほぼ横ばいで、3 ヶ月先は+6.3 と改善の見通しです。
- ・資金繰り DI は▲9.9（前期比+0.9 ポイント）とマイナス幅がほぼ横ばいで、3 ヶ月先は±0 と改善の見通しです。
- ・採算 DI は▲18.9（前期比+4.5 ポイント）とマイナス幅がわずかに縮小し、3 ヶ月先は±0 とさらに改善の見通しです。
- ・従業員数 DI は+13.5（前期比+1.8 ポイント）と人手不足感がわずかに拡大し、3 ヶ月先は+17.1 と人手不足感はさらに拡大の見通しです。
- ・業種別の業況判断 DI は前期比で製造業、小売業（最寄品）、小売業（買回品）、サービス業で改善し、建設業、飲食業で悪化しました。





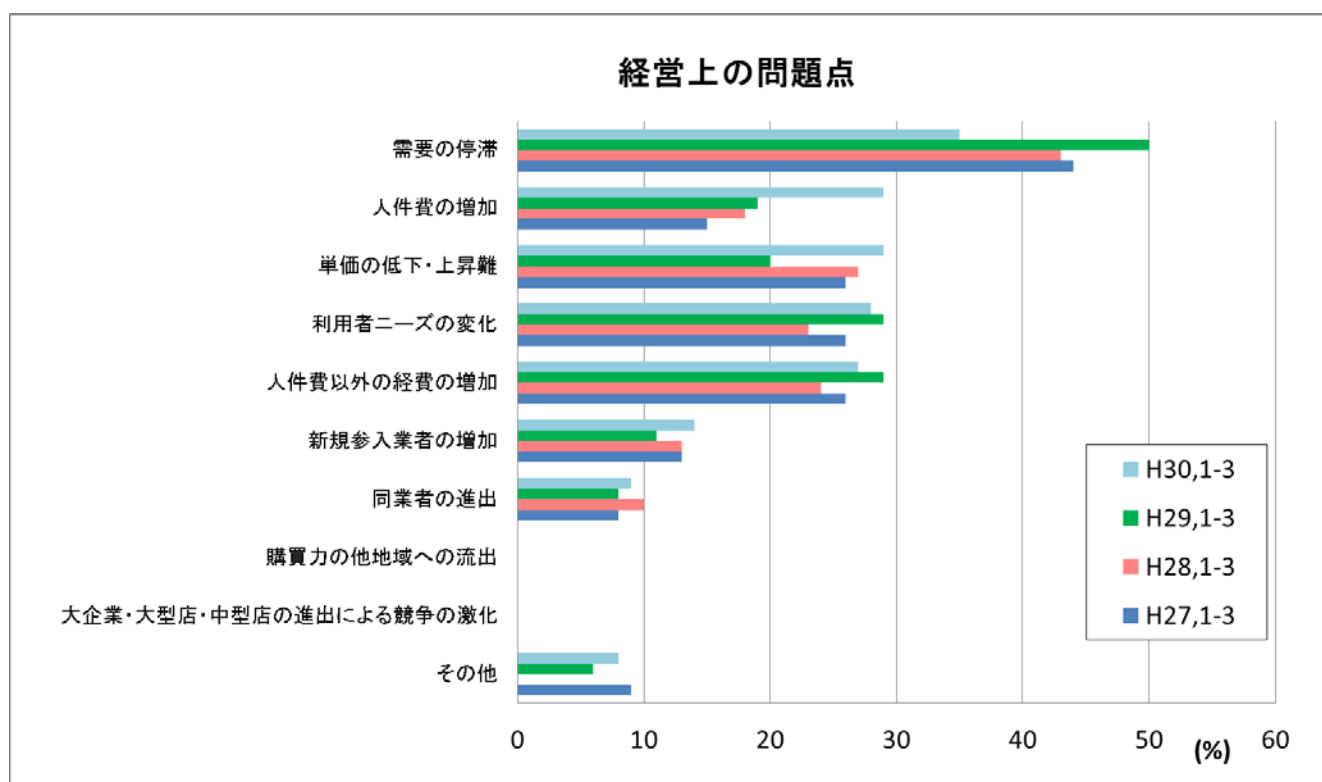
n

□設備投資の動向

- ・設備投資総件数は 16 件（3 ヶ月前と比べて▲9 件）となりました。その上位内訳は
○A機器 6 件、機械設備 5 件、建物 3 件です。

□経営上の問題点

- ・経営上の問題点（回答社数に対する比率）は、①需要の停滞：35%（39 社）が最も多く、
②人件費の増加：29%（32 社）、③単価の低下・上昇難：29%（32 社）、④利用者ニーズ
の変化：28%（31 社）、⑤人件費以外の費用の増加 27%（30 社）が続いています。

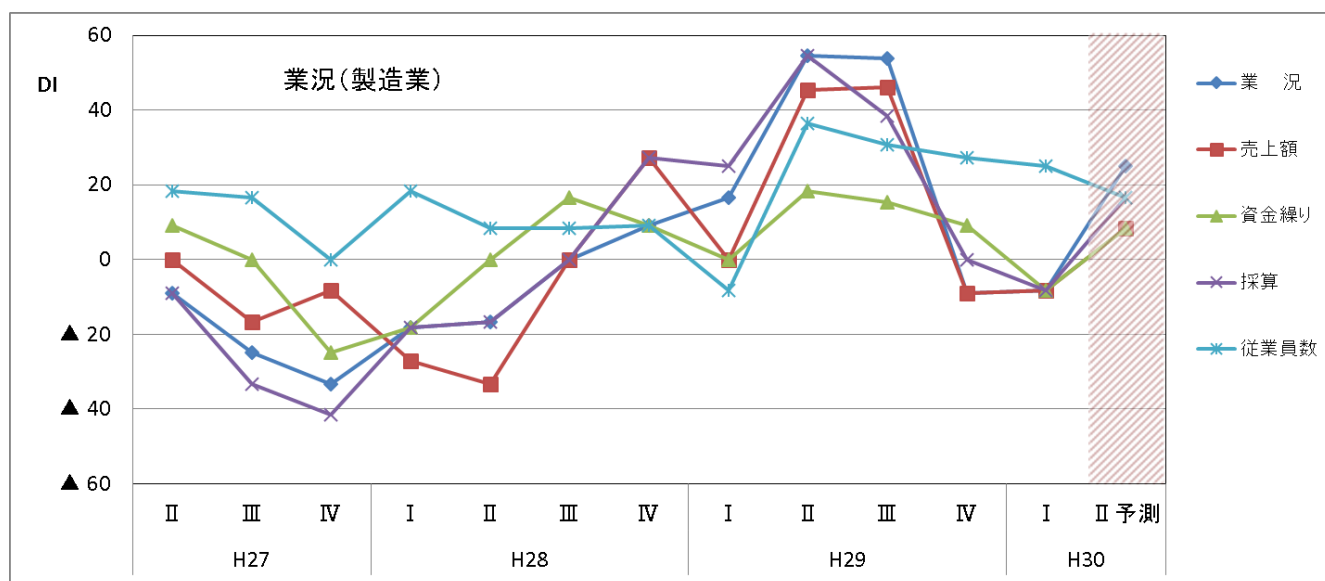


Ⅱ. 業種別

1. 製造業

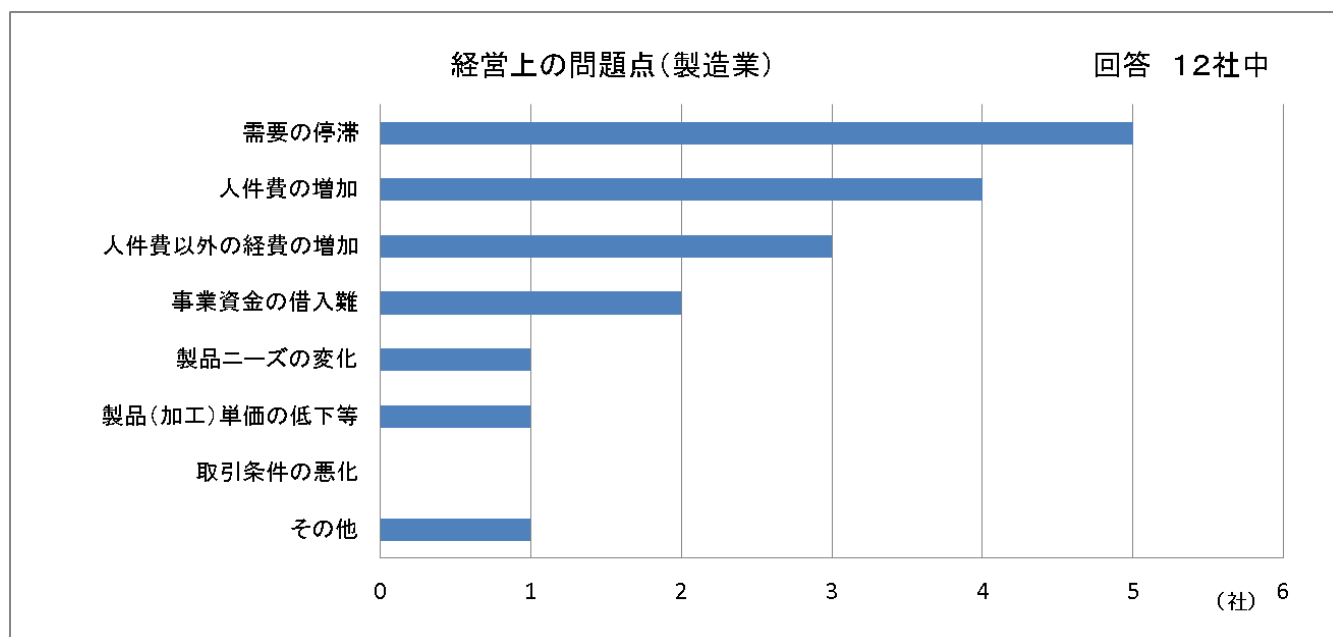
□業況 DI

- ・業況判断 DI は▲8.3（前期比+0.8 ポイント）とマイナス幅がほぼ横ばいで、3 ヶ月先は+25.0 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は▲8.3（前期比+0.8 ポイント）とマイナス幅がほぼ横ばいで、3 ヶ月先は+8.3 と改善の見通しです。
- ・資金繰り DI は▲8.3（前期比▲17.4 ポイント）とプラスからマイナスに転じ、3 ヶ月先は+8.3 と改善の見通しです。
- ・採算 DI は▲8.3（前期比▲8.3 ポイント）とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は+16.7 と改善の見通しです。
- ・従業員数 DI は+25.0（前期比▲2.3 ポイント）と人手不足感がわずかに縮小し、3 ヶ月先は+16.7 と人手不足感はさらに縮小の見通しです。



□設備投資の動向 設備投資件数は機械設備 2 件です。

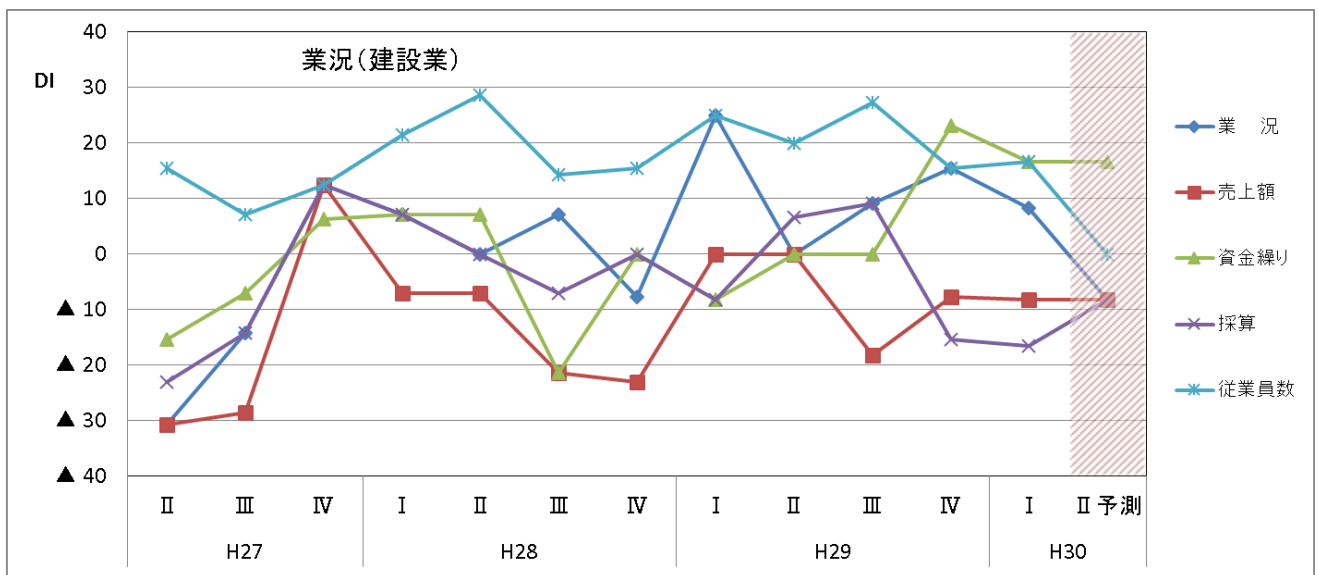
□経営上の問題点



2. 建設業

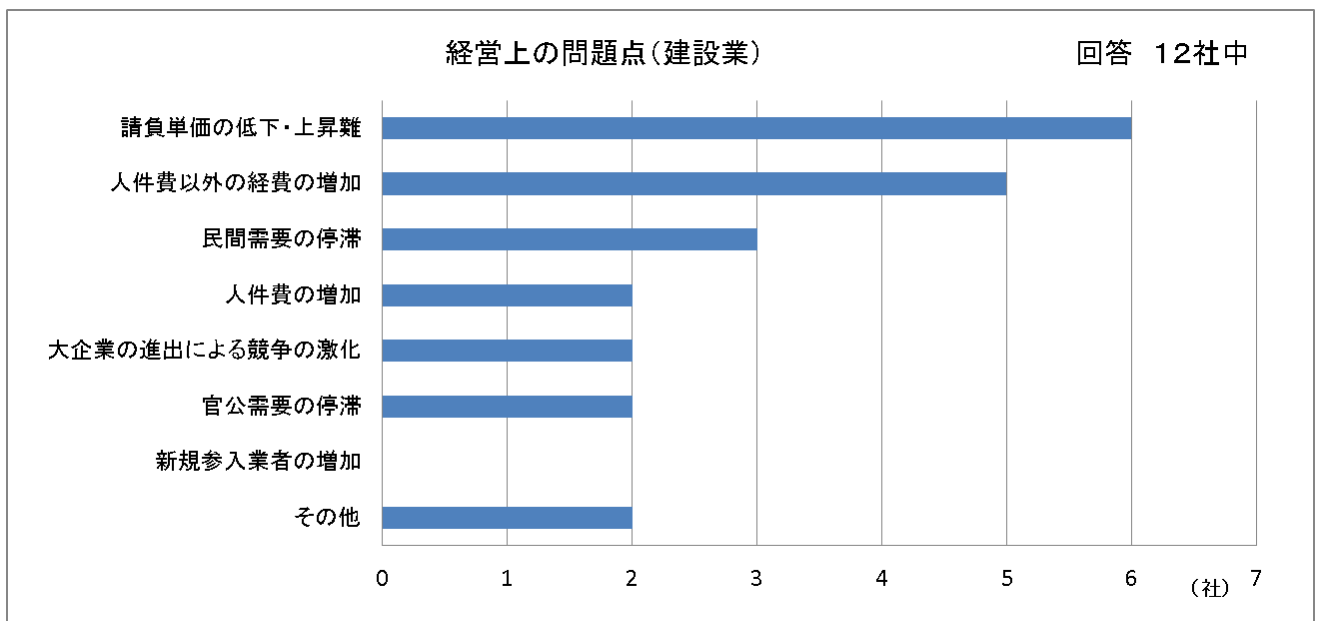
□業況 DI

- ・ 業況判断 DI は+8.3（前期比▲7.1 ポイント）とプラス幅が縮小し、3 ヶ月先は▲8.3 とさらに悪化の見通しです。
- ・ 売上 DI は▲8.3（前期比▲0.6 ポイント）とマイナス幅がほぼ横ばいで、3 ヶ月先は▲8.3 と横ばいの見通しです。
- ・ 資金繰り DI は+16.7（前期比▲6.4 ポイント）とプラス幅が縮小し、3 ヶ月先は+16.7 と横ばいの見通しです。
- ・ 採算 DI は▲16.7（前期比▲1.3 ポイント）とマイナス幅がわずかに拡大し、3 ヶ月先は▲8.3 と改善の見通しです。
- ・ 従業員数 DI は+16.7（前期比+1.3 ポイント）と人手不足感がわずかに拡大し、3 ヶ月先は±0 と不足感はなくなる見通しです。



□設備投資の動向 設備投資件数はOA機器 2 件です。

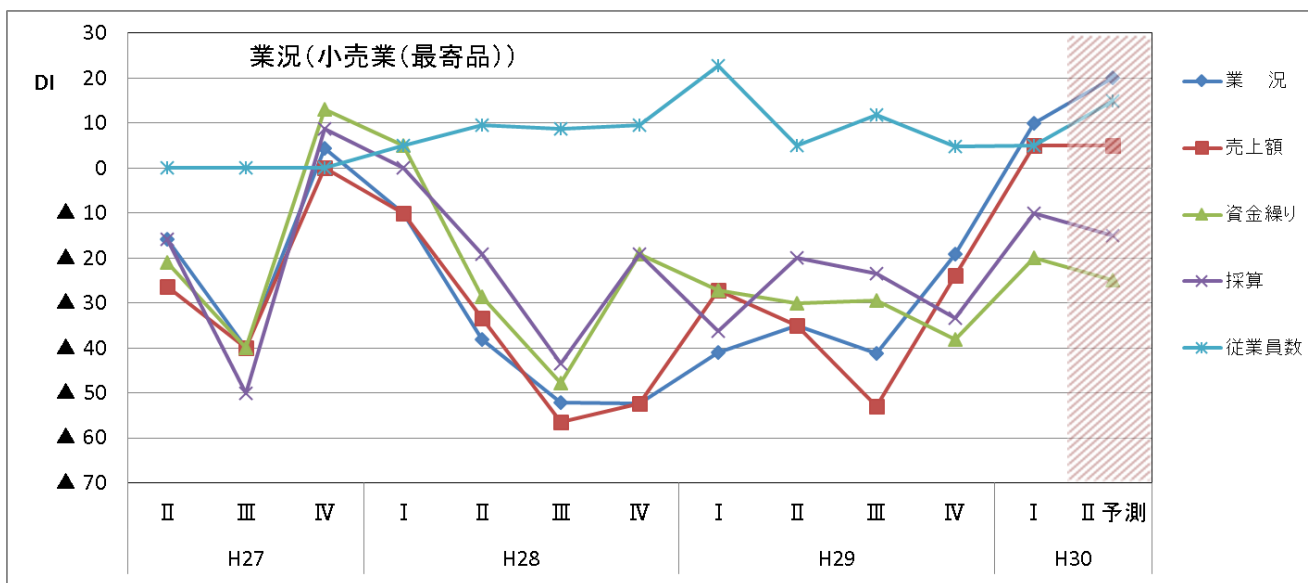
□経営上の問題点



3. 小売業（最寄品）

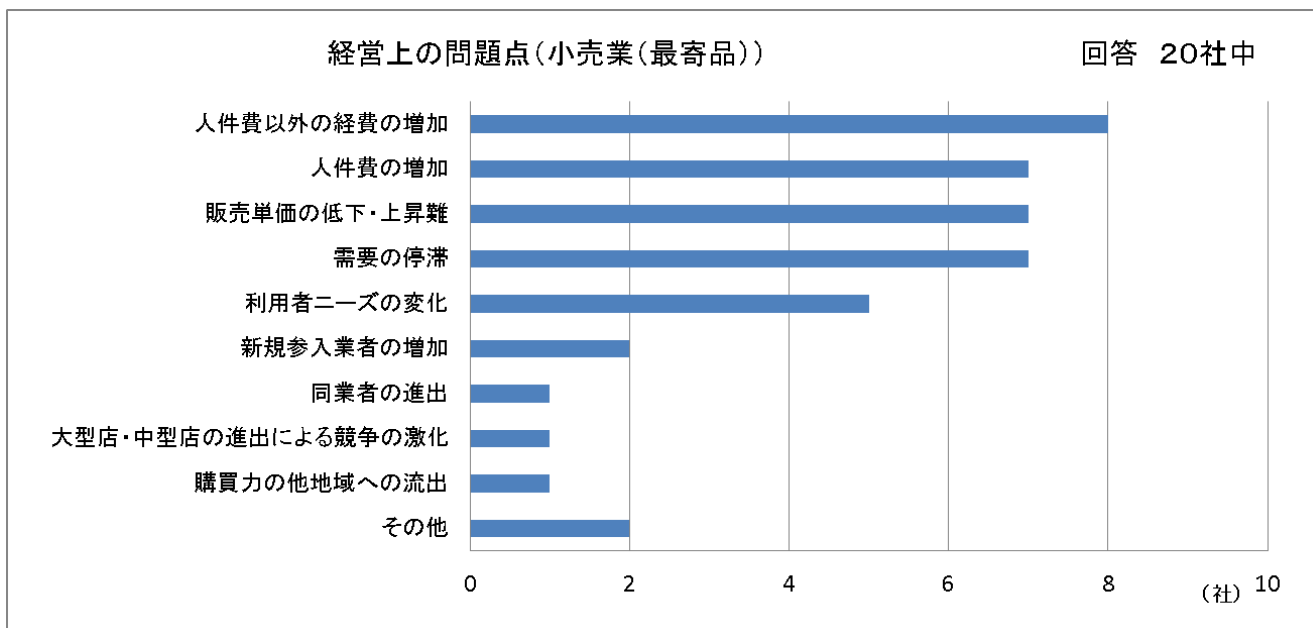
□業況 DI

- ・業況判断 DI は+10.0（前期比+29.0 ポイント）とマイナスからプラスに大きく転じ、3 ヶ月先は+20.0 とさらに改善の見通しです。
- ・売上 DI は+5.0（前期比+28.8 ポイント）とマイナスからプラスに大きく転じ、3 ヶ月先は+5.0 と横ばいの見通しです。
- ・資金繰り DI は▲20.0（前期比+18.1 ポイント）とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は▲25.0 と悪化の見通しです。
- ・採算 DI は▲10.0（前期比+23.3 ポイント）とマイナス幅が大きく縮小し、3 ヶ月先は▲15.0 と悪化の見通しです。
- ・従業員数 DI は+5.0（前期比+0.2 ポイント）と人手不足感はほぼ横ばいで、3 ヶ月先は+15.0 と人手不足感は拡大の見通しです。



□設備投資の動向 設備投資件数はOA機器 2 件、建物とその他の各 1 件です。

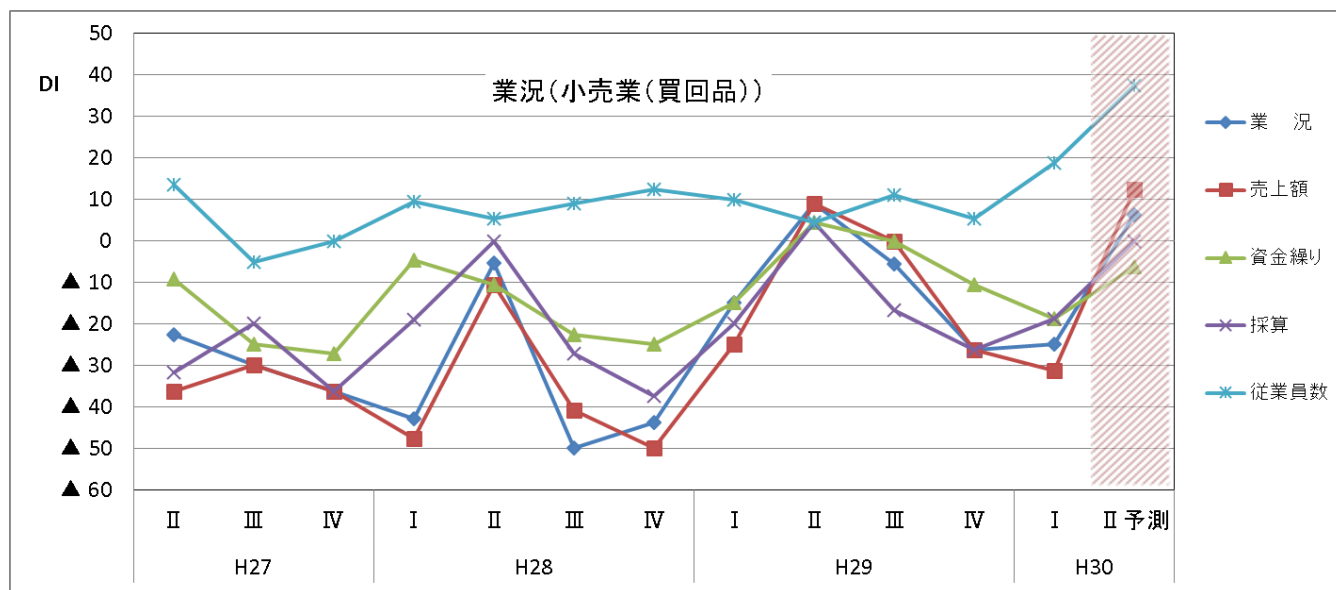
□経営上の問題点



4. 小売業（買回品）

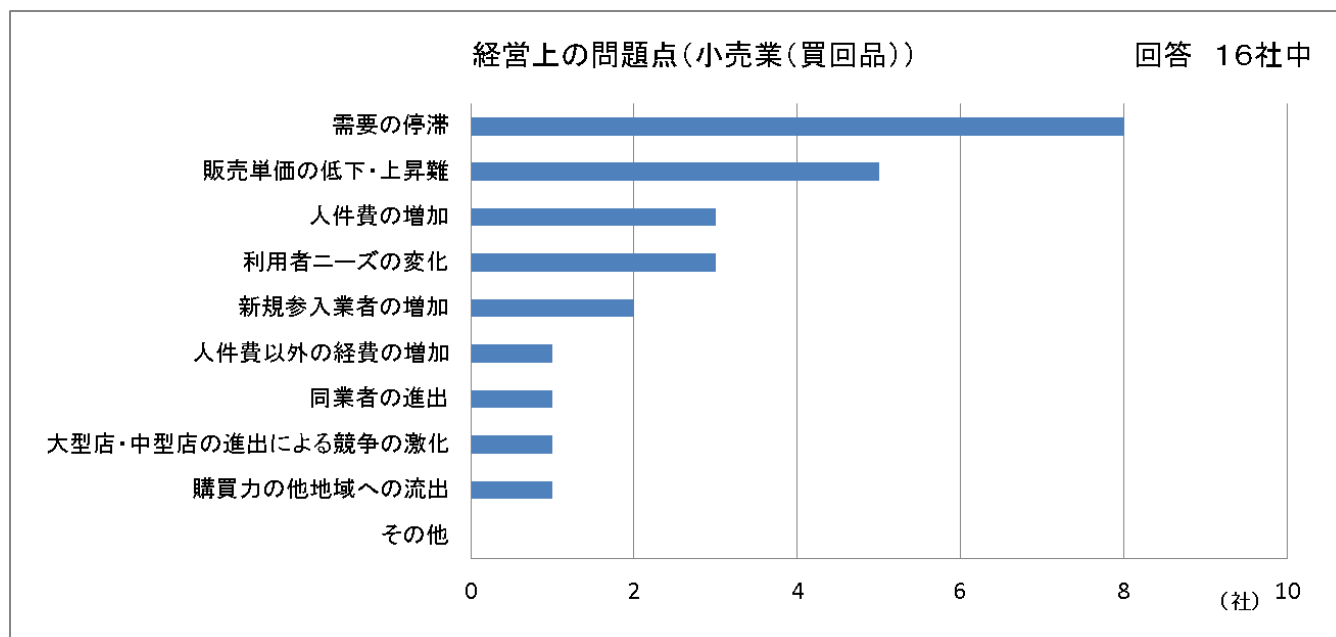
□業況 DI

- ・業況判断 DI は▲25.0（前期比+1.3 ポイント）とマイナス幅がわずかに縮小し、3 ヶ月先は+6.3 とさらに改善の見通しです。
- ・売上 DI は▲31.3（前期比▲4.9 ポイント）とマイナス幅がわずかに拡大し、3 ヶ月先は+12.5 と改善の見通しです。
- ・資金繰り DI は▲18.8（前期比▲8.2 ポイント）とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は▲6.3 と改善の見通しです。
- ・採算 DI は▲18.8（前期比+7.6 ポイント）とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は±0 とさらに改善の見通しです。
- ・従業員数 DI は+18.8（前期比+13.5 ポイント）と人手不足感が拡大し、3 ヶ月先は+37.5 と人手不足感はさらに拡大の見通しです。



□設備投資の動向 設備投資件数は機械設備と車両運搬具の各 1 件です。

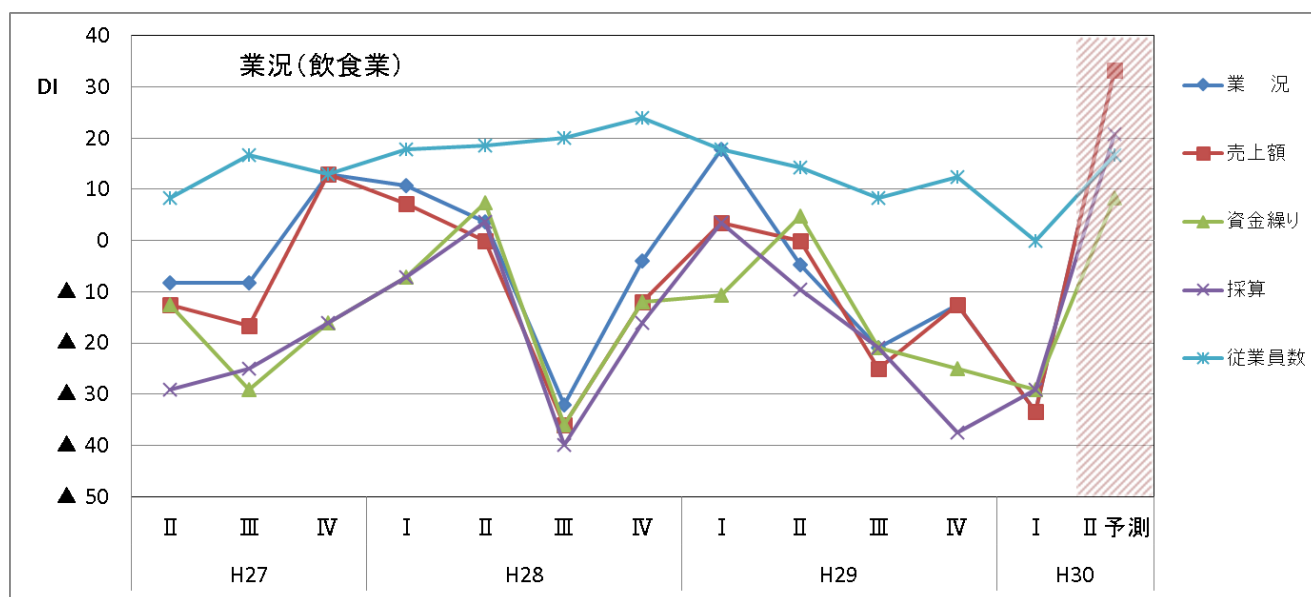
□経営上の問題点



5. 飲食業

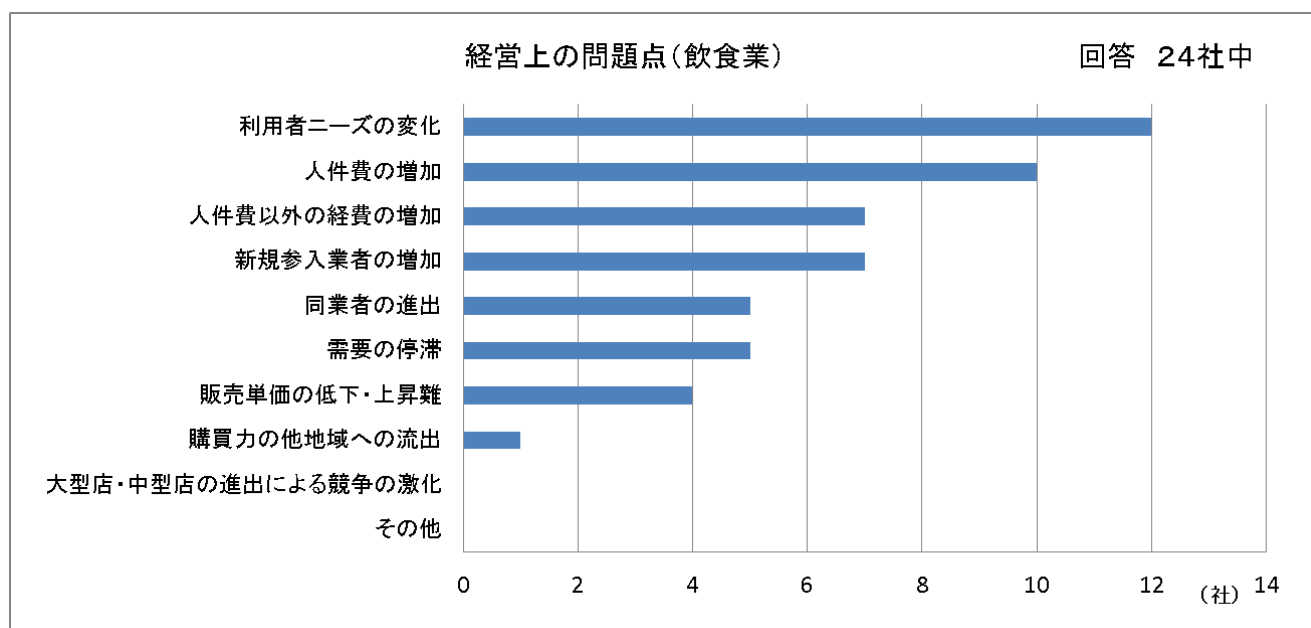
□業況 DI

- ・業況判断 DI は▲33.3（前期比▲20.8 ポイント）とマイナス幅が大きく拡大し、3 ヶ月先は+33.3 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は▲33.3（前期比▲20.8 ポイント）とマイナス幅が大きく拡大し、3 ヶ月先は+33.3 と改善の見通しです。
- ・資金繰り DI は▲29.2（前期比▲4.2 ポイント）とマイナス幅がわずかに拡大し、3 ヶ月先は+8.3 と改善の見通しです。
- ・採算 DI は▲29.2（前期比+8.3 ポイント）とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は+20.8 とさらに改善の見通しです。
- ・従業員数 DI は±0（前期比▲12.5 ポイント）と人手不足感が縮小し、3 ヶ月先は+16.7 と不足感は拡大の見通しです。



□設備投資の動向 設備投資件数は機械設備 2 件、OA 機器と建物の各 1 件です。

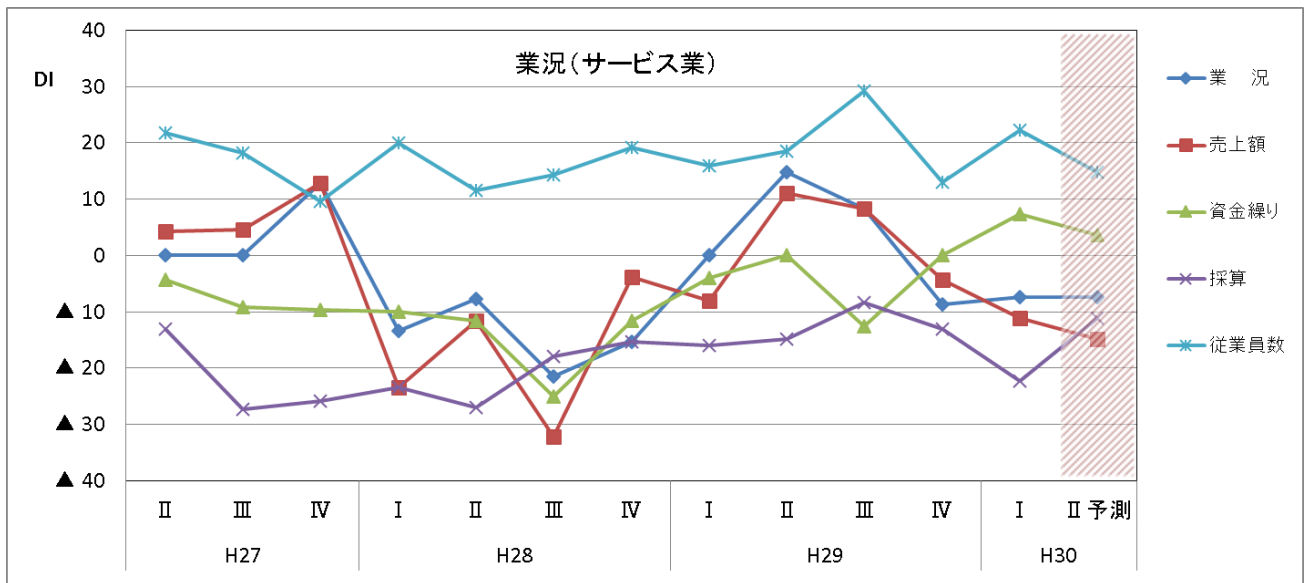
□経営上の問題点



6. サービス業

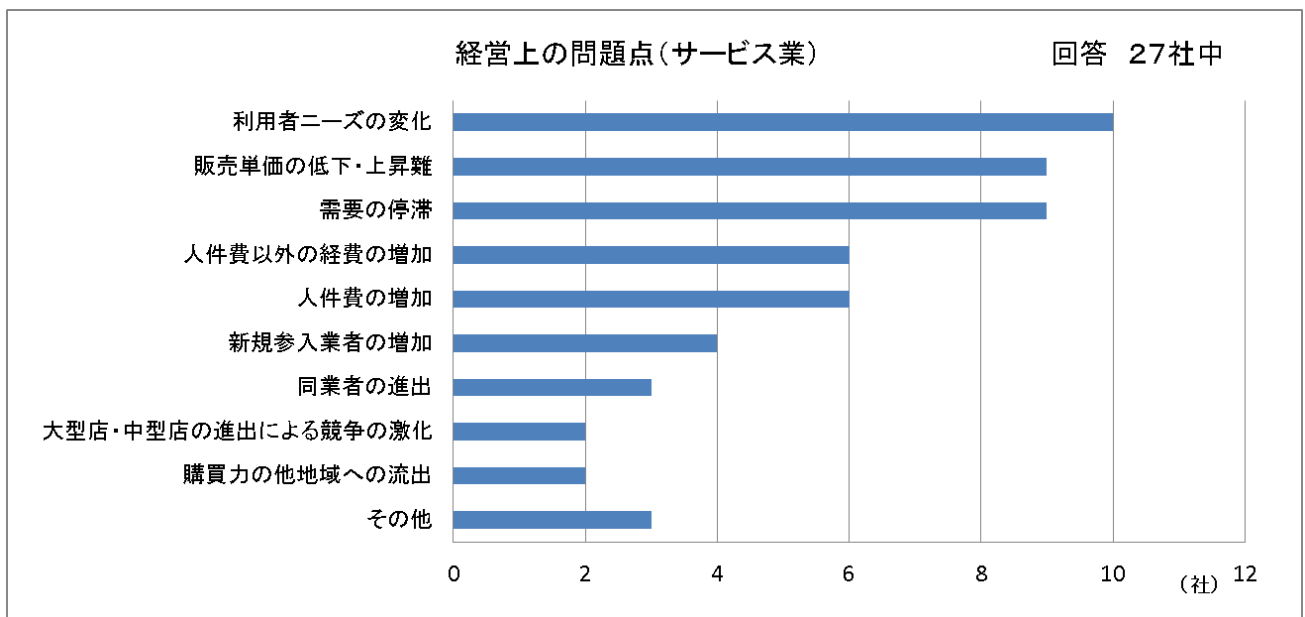
□業況 DI

- ・業況判断 DI は▲7.4（前期比+1.3 ポイント）とマイナス幅がわずかに縮小し、3 ヶ月先は▲7.4 と横ばいの見通しです。
- ・売上 DI は▲11.1（前期比▲6.8 ポイント）とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は▲14.8 とさらに悪化の見通しです。
- ・資金繰り DI は+7.4（前期比+7.4 ポイント）とプラス幅が拡大し、3 ヶ月先は+3.7 と悪化の見通しです。
- ・採算 DI は▲22.2（前期比▲9.2 ポイント）とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は▲11.1 と改善の見通しです。
- ・従業員数 DI は+22.2（前期比+9.2 ポイント）と人手不足感が拡大し、3 ヶ月先は+14.8 と人手不足感が縮小の見通しです。

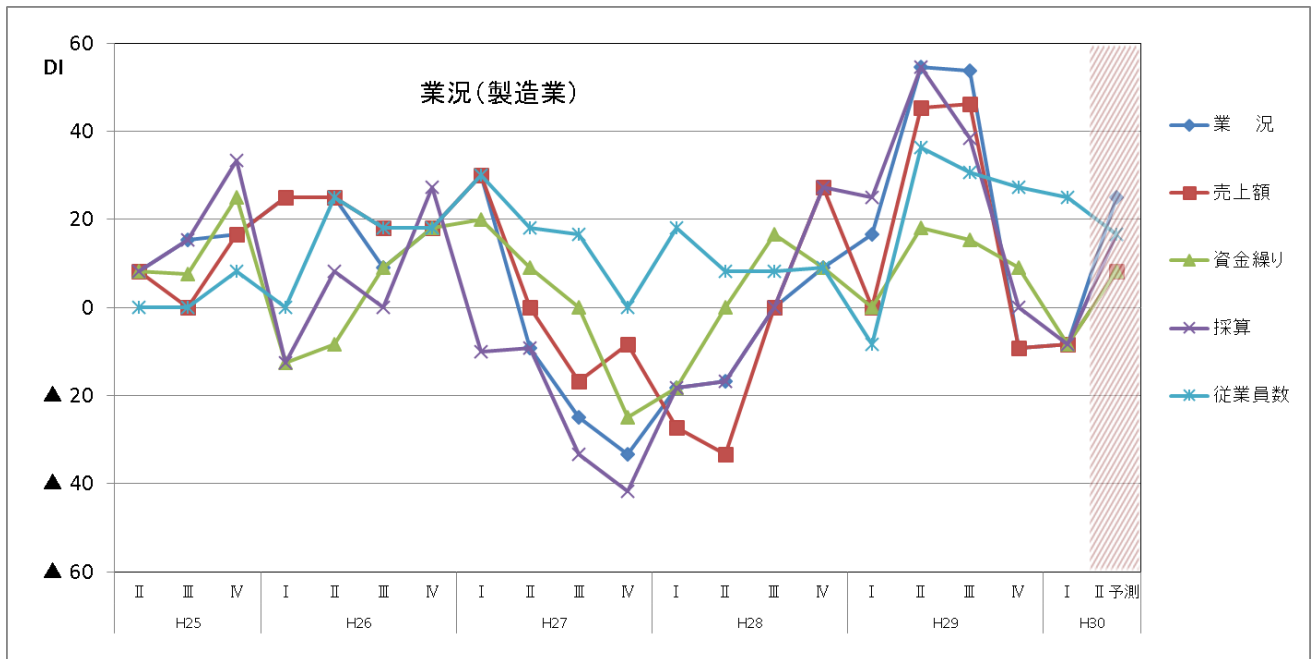
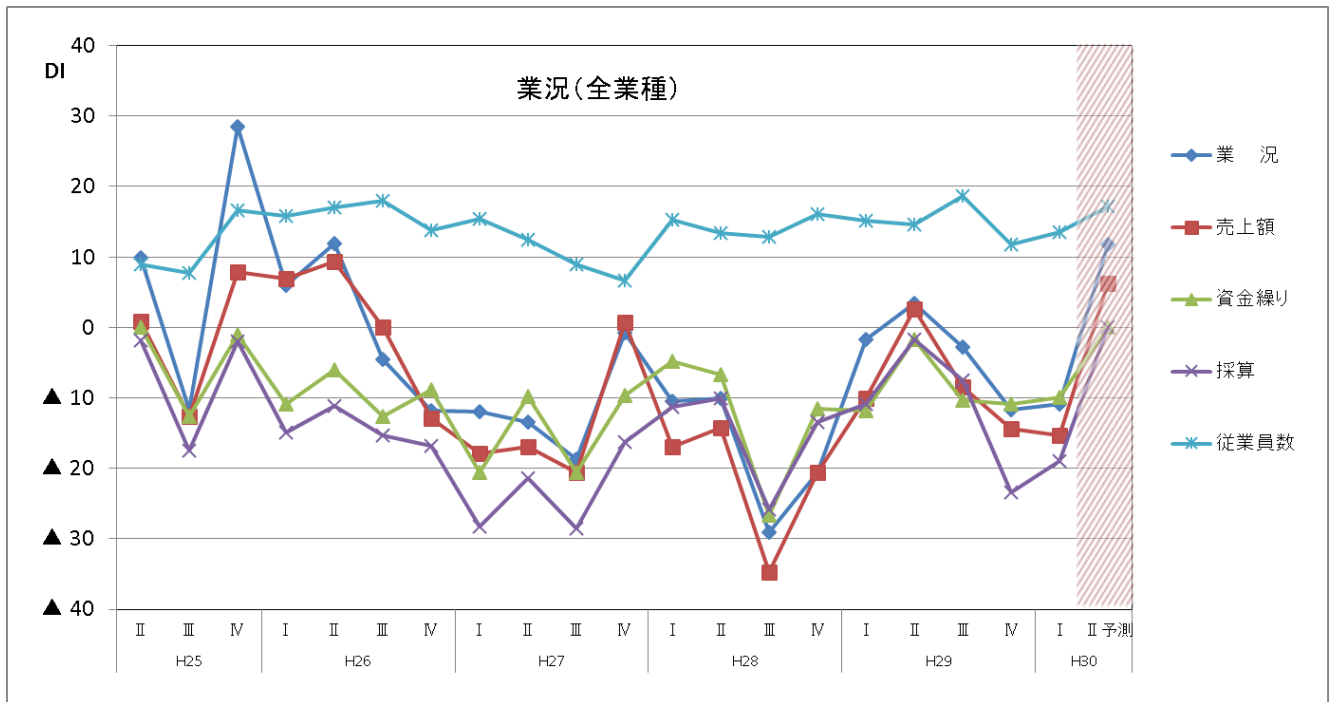


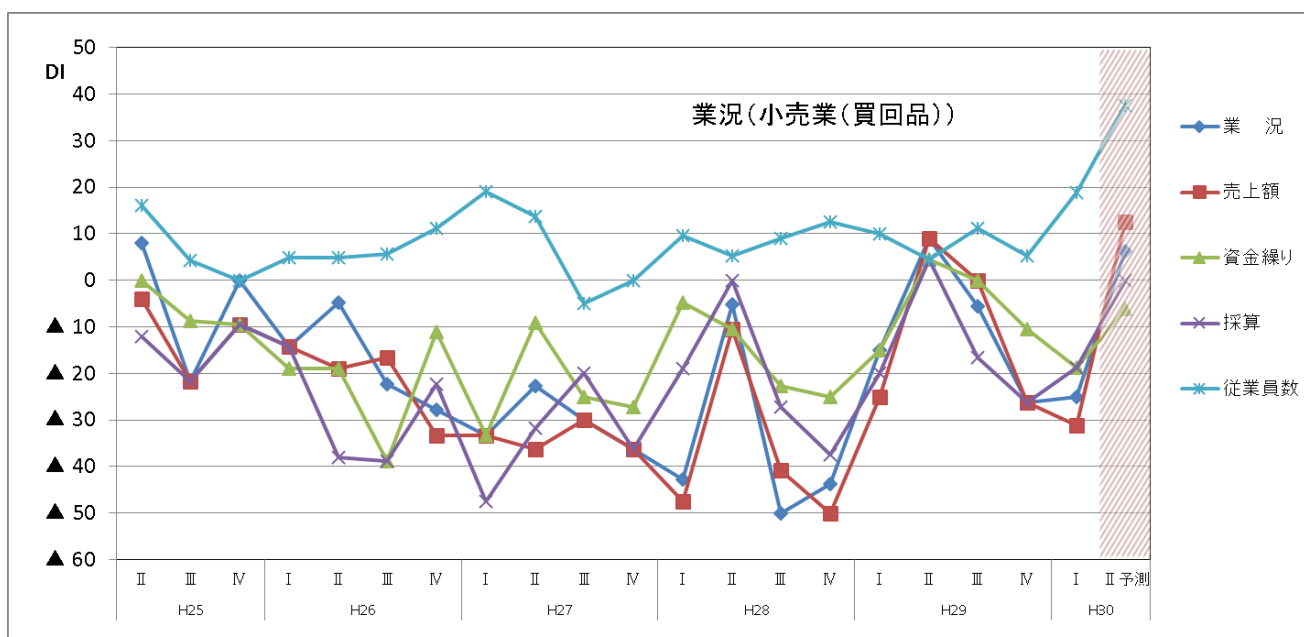
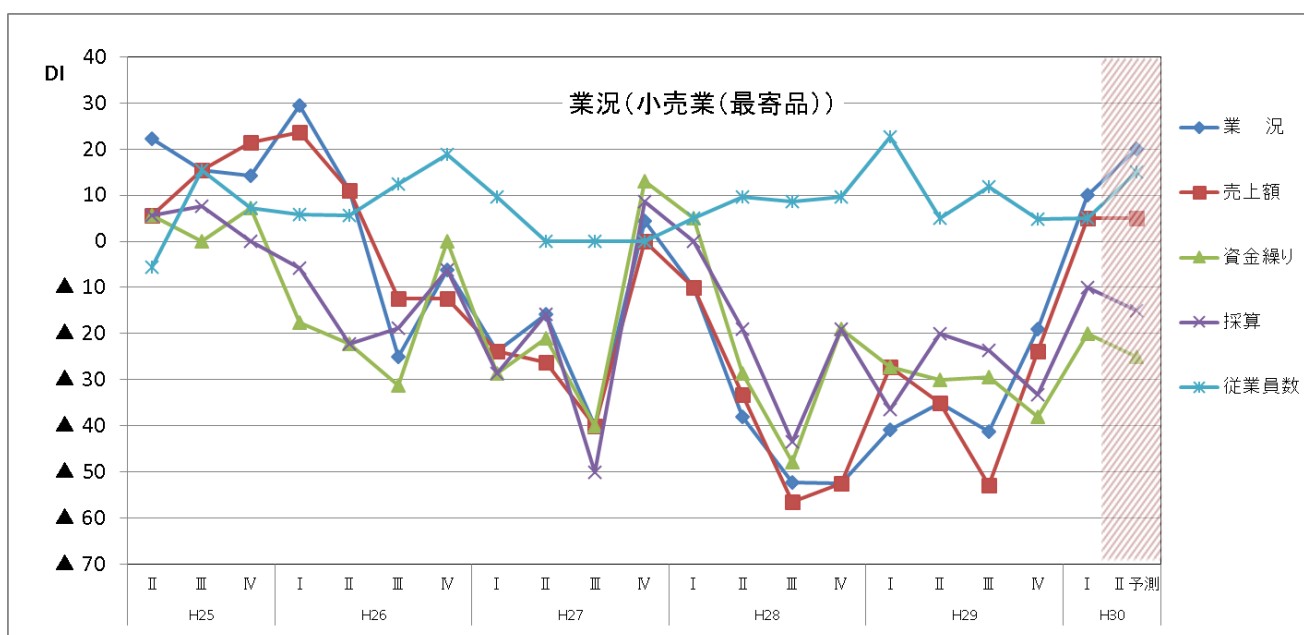
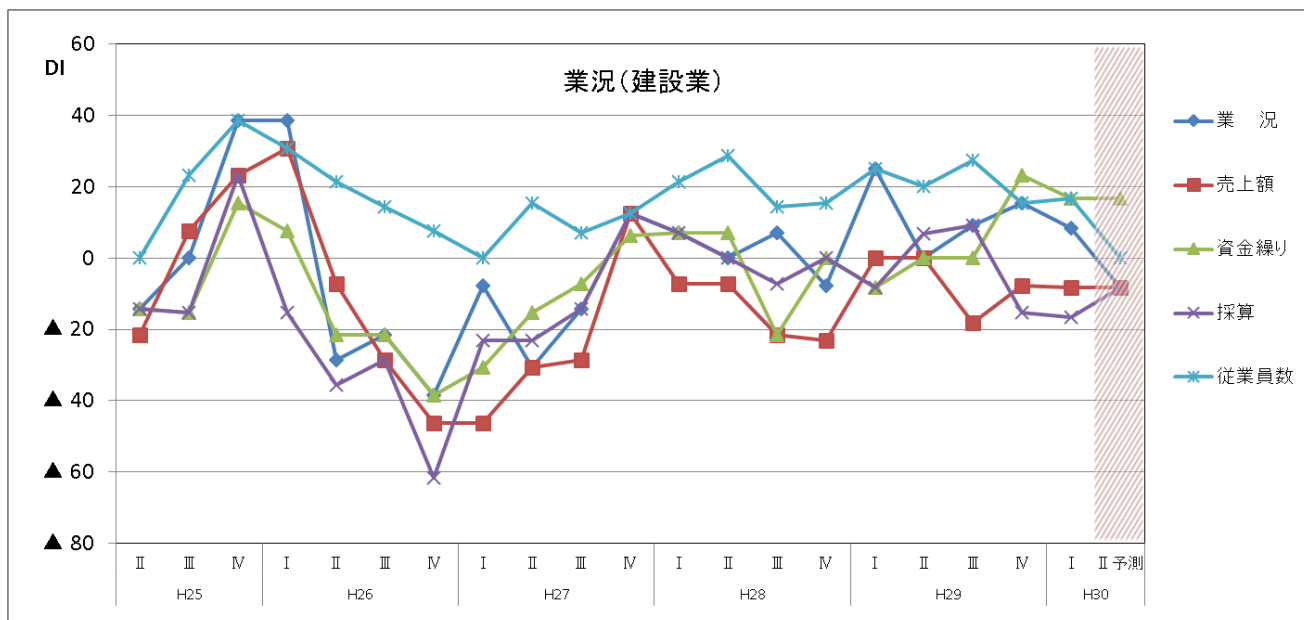
□設備投資の動向 設備投資件はOA機器と建物各1件です。

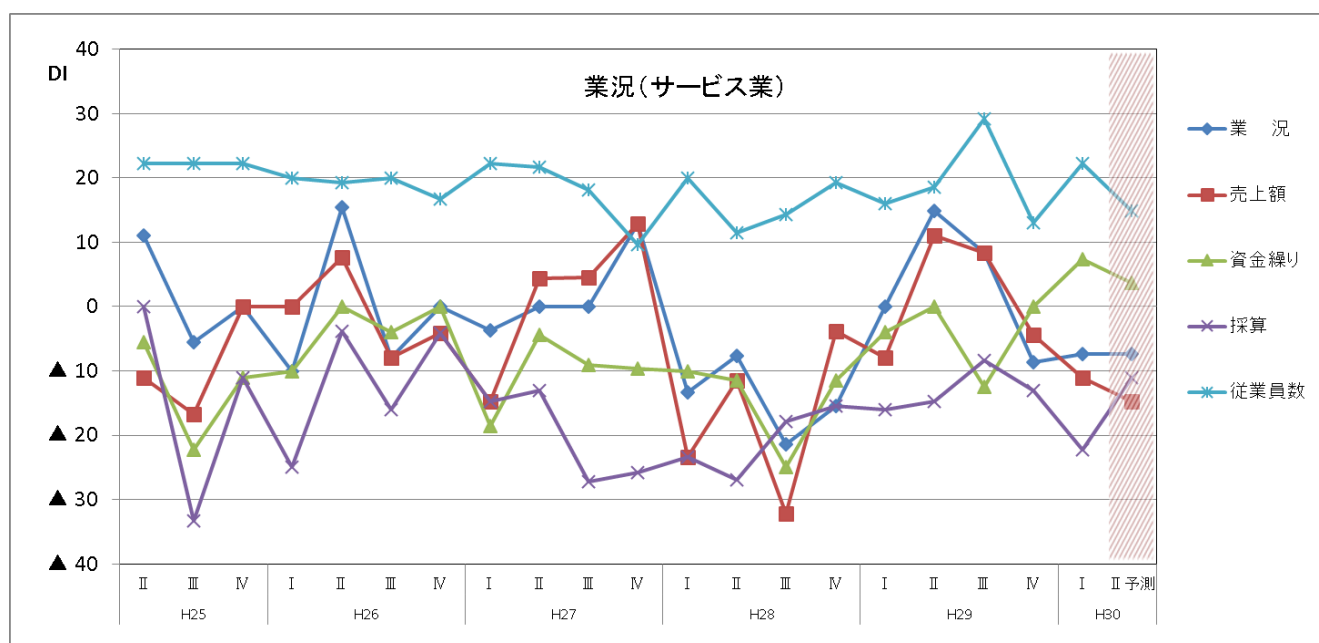
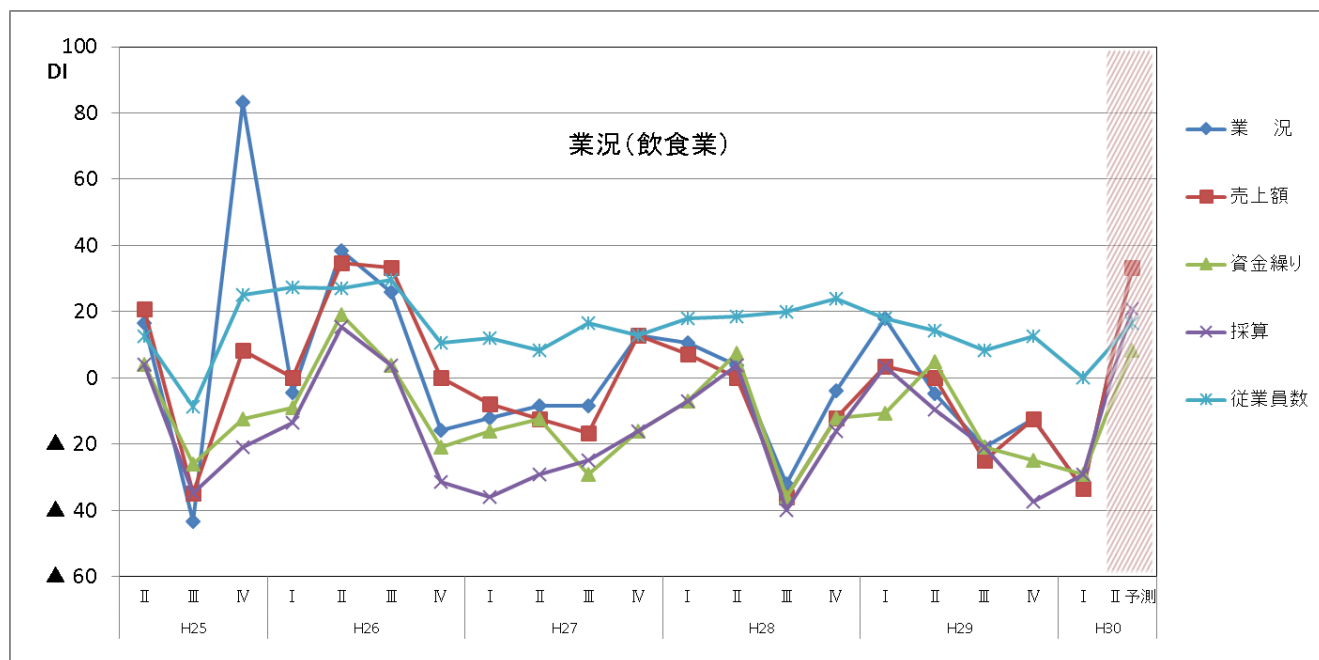
□経営上の問題点



《資料》 5年分の推移







設備投資

全業種	H25				H26				H27				H28				H29				H30	
	II	III	IV		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II予測
OA機器	2	4	7		14	15	8	6	6	3	6	6	9	12	6	9	6	11	3	6	6	1
機械設備	3	4	4		3	8	8	7	3	3	4	5	3	4	6	6	6	6	8	6	5	3
車輛運搬具	4	3	4		11	6	6	6	8	7	5	5	7	5	8	5	1	6	5	5	1	1
建物	3	5	2		4	5	5	6	8	6	6	5	3	4	5	5	4	4	5	5	3	5
その他	3	2	1		1	3	2	0	2	2	1	1	2	4	2	0	0	4	1	3	1	1

製造業	H25				H26				H27				H28				H29				H30	
	II	III	IV		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II予測
OA機器	0	1	2		4	4	2	1	1	0	3	3	0	1	2	2	1	0	1	0	0	0
機械設備	0	0	0		1	1	1	2	1	0	0	0	1	1	0	2	0	1	2	1	2	2
車輛運搬具	0	0	1		1	0	1	1	1	1	1	2	2	0	2	1	0	2	1	0	0	0
建物	0	0	0		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0
その他	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	2	0	0	0	0

建設業	H25			H26				H27				H28				H29				H30			
	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ予測		
OA機器	0	0	2	2	3	0	0	0	0	2	2	2	0	0	2	1	2	0	1	2	1		
機械設備	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0		
車輛運搬具	1	0	0	3	1	1	2	2	4	2	1	0	2	3	2	1	2	1	1	0	0		
建物	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		
その他	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		

小売業 (最寄品)	H25			H26			H27			H28			H29			H30					
	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ予測
OA機器	1	2	3	2	2	1	2	1	0	0	0	0	3	1	2	1	3	0	2	2	0
機械設備	2	2	1	1	2	2	2	2	0	2	4	0	1	4	0	2	0	2	2	0	1
車輛運搬具	1	0	1	2	1	0	0	2	2	1	0	2	0	1	1	0	0	0	1	0	1
建物	0	2	0	0	1	2	2	3	2	2	1	1	2	2	1	2	1	0	2	1	1
その他	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	2	1	1

小売業 (買回品)	H25			H26				H27				H28				H29				H30			
	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ予測		
OA機器	1	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	3	1	1	0	1	2	0	0	0	0		
機械設備	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0		
車輛運搬具	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	0	2	2	1	0	0	1	0	0	1	0		
建物	0	1	1	2	0	0	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		

飲食業	H25			H26				H27				H28				H29				H30			
	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ予測		
OA機器	0	1	0	1	2	1	1	1	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0		
機械設備	1	2	2	1	5	4	4	0	2	1	1	1	0	1	3	2	5	3	2	2	0		
車輛運搬具	1	2	1	0	2	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0		
建物	3	2	0	1	2	2	2	2	1	0	1	0	1	1	2	1	0	1	0	1	2		
その他	2	1	1	0	2	1	1	1	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0		

サービス業	H25			H26				H27				H28				H29				H30		
	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ予測	
OA機器	0	0	0	4	3	3	3	2	1	1	1	4	6	2	3	1	4	2	3	1	0	
機械設備	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	
車輛運搬具	1	1	1	3	1	2	2	2	0	0	1	1	1	1	1	0	1	1	2	0	0	
建物	0	0	0	1	1	1	1	2	1	2	3	2	1	1	1	1	1	3	2	1	1	
その他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	

以上